



関東徳高会 No.10

校訓
敬愛
向学
共生

発行所：〒331-0804 さいたま市北区土呂町 2-12-20-202 医院企画内 発行人：関東徳高会会長 松山 哲則

ご挨拶

関東徳高会会長 松山 哲則
第27期生



2018年に会長を拝命し、2年の月日が経ちました。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昨年は、約80名の会員の皆様が参加され、にぎやかに総会並びに懇親会を開催できました。開催に際しては、多くの会員の皆様から通信費ならびに、ご寄附を頂きました。おかげ様で「会報」もカラー印刷の発行になり、回も重ねて第10号となりました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

OB訪ねて西東

私は、徳之島高校卒業の方々と不思議なご縁が幾つもあります。昭和53年、島へ帰省中のアルバイト先・電電公社(現NTT)で紹介されたのは、埼玉県在住のM.Hさん(昭39卒・犬田布)。以来42年間、公私共にお世話になっております。大学時代の同級生(静岡出身)から紹介されたのはH.Tさん(昭46卒・井之川)何度も一緒に仕事をする機会にも恵まれましたが、その後病気で早逝され享年52歳、残念でした。インターネットが出始めの1995年に東京都内のオフ会で会ったのは先輩のT.Mさん(昭45卒・松原)現在、徳高会の役員としてお世話になっております。同じ様にインターネットで知り合った自衛官のY.Iさん夫妻を訪ねて青森・三沢へ向ったのは2000年でした。同級で防衛医官のS.Mさん(昭和52卒・亀津)が2年間、ロンドン勤務だと知らせて来たので、先輩を誘いイギリスへ出かけたのは1998年のことです。外務省に勤務の先輩がニューヨーク転勤と知り10名の先輩方と訪ねた先は、N.Sさん(昭46卒・面縄)。テロの被害地を訪ねたのは今でも強く印象に残っています。後に、ベトナムのハノイへ赴任されたと聞き15名の先輩方とベトナムへ出かけたのは2014年でした。皆様もご縁のあった、徳高卒の先輩・後輩・同級生を訪ねてみませんか？

今年は「関東安陵会」(大島高校)「関東前田ヶ丘会」(大島北高校)さらに各郷友会の総会も中止の情報が届いています。

役員一同、総会・懇親会が例年通り、安全に開催できるようになることを願っております。

【編集者メモ】

- ・昭和52年卒 徳之島町 亀津出身
- ・(株)医院企画 代表
- ・徳之島郷土研究会会員
- ・一級建築士

徳山高明先生の歌碑 (伊仙町犬田布岬)

関東徳高会第12代 会長 土岐 邦成
第10期生



本年2月以来、世の中は新型コロナウイルスの発生、蔓延で未曾有の困難に陥っています。

会員の皆様は、恙なくお過ごしでしょうか 案じております。

平素から会員の皆様が当会の目的や事業をご理解して邁進されていることに、先ず心から敬意を表します。

私は徳之島高校を卒業後上京、昭和37年に旧郵政省へ奉職して平成14年に定年退職するまで、およそ41年間いわゆるポストマンを勤め上げました。本年の10月には八十路ですが徳山先生の勧めで東北アララギ会(本拠：仙台市)へ入会し「60の手習い」で短歌を始めました。

先生は、犬田布出身で徳高時代「新聞部」に属し、色々ご指導戴く間柄となった先輩でしたが途中で甲南高校へ転校され東北大学へ進まれました。卒業後、徳高で国語教師として教鞭を執っていますがそれも東の間、仙台へUターンし教育者として宮城県の高校で平成10年まで教職を勤めています。前置きが長くなりました。本会と表題の関わりをお判り戴くためです。お許しください。

次に歌碑についてですが、犬田布岬の「戦艦大和慰霊塔」の程近い丘の公園に「徳山高明先生の歌碑」が次の詠草を以て建立されていることを謹んでお知らせ致します。

「われもまた 霊魂ひとついつの日ぞ 奄美の空翔ぶ 星の一閃(いっせん)」徳山 高明

歌碑は令和元年6月20日、先生の三回忌の法要に併せて建立され、東北地方や地元の関係者の参加のもと盛大な除幕式が行われました。掲出歌は、平成29年の新年歌会に出詠した歌で、先取りの辞世の歌と言われます。

結びに、先生の歌人としての姿にスポットを当てます。東北アララギ会の歌誌「群山(ムラヤマ)」を発表の基盤として歌論と実作の両面で活躍し東北歌壇ではスター的な存在でした。創刊者扇畑忠雄氏亡き後は、編集発行人として13年にも及ぶ重責を果たしていましたが平成29年6月に病で他界されました。生前は島尾敏雄ご夫妻との交友で知られ、その題名許可を得て発刊された第三歌集「ヤポネシア」は人気の高い短歌集です。

最後に、関東徳高会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を念じ上げて擲筆といたします。

【編集者メモ】

- ・昭和35年卒 天城町兼久出身 飯田橋局長等を歴任
- ・徳山高明氏 伊仙町犬田布出身 昭和15年2月生